

#### 4 学校関係者評価

- ここ数年の課題として生徒募集に取組まれているが、中学校の生徒数減少から定員を満たすことは難しいと思う。八代地区の学校はそれぞれに工夫を凝らして学校の様子や取組を積極的に発信されている。貴校の資格取得は大きな特長です。敢えて言えば、中学生には学校の表面的な情報しか伝わっていないため、確実に学校の良さを伝えることができれば志願者数の増加につながると思う。今後も、在校生の頑張る姿をどんどん発信されることを期待します。
- どの校種でもアンケート結果は同じ傾向が見られ、保護者の学校への期待は高い。要望として、学力面や進路面、教育相談等多岐にわたる。それぞれ先生方は対応しているものの、もっと我が子を見て欲しいと考える保護者が増えている。中学校で課題のあった生徒を受入れられている事に感謝している。保護者の期待と要求、学校が出来ること出来ないことを分け毅然とした態度で、生徒達を学校全体で、そして社会全体で育成していく必要がある。
- アンケートの結果で、「学校が楽しい」（と言っている）の問いに生徒8割以上や保護者は9割以上と答えている。昨年に比べ教職員の数値が向上している。
- 3年生の服装検査を拝見したが、和やかな雰囲気の中で、社会人になる最後の確認を師弟と共に行っているように感じました。丁寧な指導に感心しました。
- 我が子が今年度就職試験を受験した際、集団面接で八代工業の生徒と一緒に受検し、専門的でしっかりした考え方を持っていて受け答えをしていたと聞いた。そのことからもしっかりとした3年間の指導が行き届いていることが分かりました。
- 朝の登校時の自転車通学生のマナーが悪い。朝は車の通行も多く、本当に危ないと感じた。今一度大切な命を守るため、強く温かい御指導を望みます。
- 敢えて苦言を呈する覚悟で来たが、全体を通して特に意見を申し上げる必要がない。先生方の熱心な指導が伝わってきます。地域の大人として、県内就職割合や八代に残る生徒が増えたことは嬉しい。今後もぜひ卒業後も地元に残ってほしい。

#### 5 総合評価

- 今年度も引き続き、生徒募集に向けて学校広報チラシの新聞折り込みや看板の設置、オリジナル団扇配布、文化祭テクノ広場を行った。中学生体験入学やこども科学フェアなど工業高校における「ものづくり」の楽しさをPRした。他にも多くのPR活動に取組んだが、残念ながら志願者数は減少した。
- 学校目標や重点目標については、合格者説明会、始業式や終業式、PTA総会や各学年PTA等において機会ある毎に周知している。アンケート調査から生徒85%、保護者92%、職員100%と理解度は高い。職員はもとより生徒と保護者の理解度を高めるため、年間を通して周知を図る。
- アンケート調査の学力向上へ取組みでは、全ての職員が「分かりやすい授業を心掛けている」の回答に対して、「分かりにくい」19%、「わからない」3%の生徒が回答している。今後は生徒一人ひとりの理解度を把握し、授業改善とともに個別指導などの対応策が必要である。昨年度は生徒の約3割が「授業に積極的に取り組んでいない」と回答していたが、今年は2割に減少した。今後は更に学習意欲の向上、進路決定や資格取得に繋げたい。
- 進路指導については、昨年と同様に進路面談を9割近い職員は「実施している」と回答しているが、3割の生徒が「行われていない」と回答している。これは双方の面談における内容や意識の捉え方に差があることが考えられる。本年度は企業の採用意欲が旺盛で求人数が増加し、就職選考解禁1回目受験で県内工業高校トップの内定率94%を達成し、11月には就職内定100%を達成した。進学では熊本大学1人、大分大学2人の計3人国立大学に合格し、昨年の1人から増加した。今後もセンター試験に対応した進学課外の充実が必要である。公務員合格者は（八代市役所1人、自衛隊7人）8人だった。
- 資格取得については、各科とも熱心に取組み、ジュニアマイスターの取得者は昨年度65人から22人増えて87人であった。
- 校内環境美化については、96%の保護者が「よく整備されている」と回答、生徒及び職員も約8割が「環境美化が良い」と感じている。しかし、今年度のゴミ分別と軽減については、昨年度より可燃物の増加が見られた。これは休日来校者の持込みゴミや校内不用品処分によるものが考えられる。
- 今年度は女子生徒の活躍が見られた。部活動では、ソフトボール部、柔道部、弓道部が全国大会出場、卓球部、テニス部が九州大会出場するなど秋以降の新チームでの活躍が見られ、次年度の県高校総体での活躍を期待したい。高校生ものづくりコンテストでは、出場5部門とも入賞し、うち2部門で九州大会に出場した。溶接競技大会では県大会を制し、九州大会に出場を果たした。マイコンカーラリーにおいても九州大会に出場した。

#### 6 次年度への課題・改善方策

- ① 確かな学力の向上 ○ ICT活用授業の充実 ○ アクティブラーニングの積極的活用 ○ 各教科の授業研究の更なる充実
- ② 資格取得の取り組み ○ ジュニアマイスター取得増加に向け、各科が連携した指導体制の確立 ○ 朝課外の内容充実と効率化
- ③ 地域への発信と連携 ○ 学校案内や広報誌、HPの充実と年間を通じた計画的な広報活動 ○ ものづくりや部活動等を通しての地域貢献
- ④ 進路指導体制の強化 ○ 就職・進学・公務員の指導体制の強化及び企業との連携 ○ 進路意識の高揚に向けた各種ガイダンスの工夫改善
- 国公立大学と公務員受験対策並びに組織的指導体制の強化 ○ 家庭や関係部署との連携強化
- ⑤ 校内組織の充実 ○ 人権教育推進に向けた指導体制の充実 ○ 教育相談部(人権・特別支援)の組織内連携強化と関係機関との連携
- ⑥ 交通安全教育の徹底 ○ 交通安全意識高揚に向けた講話 ○ 自転車の交通ルールとマナーの徹底 ○ 保護者と連携した交通安全教育の充実